

カンドニンティック研究(1)

—*Bras bu yongs rdzogs btags grol snying po'i rgyud dri med snying po* 和訳—

安田章紀

1 序

チベット仏教はニンマ派、サキヤ派、カギユ派、ゲルク派という4大宗派によって代表される。そのうちニンマ派については、代表的人物として、14世紀に活躍した学僧ロンチェンラブジャムパ (Klong chen rab 'byams pa, 1308-1363、以下ロンチェンパ) を挙げることに異論はないであろう。ロンチェンパはニンマ派教学の大成者として知られ、その著作は顕教と密教の双方にわたっており、特に「ニンティック」(sNying thig) と呼ばれる思想を最も重視していた。ニンティックとはニンマ派の中心思想として知られる「ゾクチェン」(rDzogs chen) の1種である。ただしニンティックはタントラの要素、すなわちニンマ派固有の密教体系であるマハーヨーガ (Mahāyoga) とインドから伝えられた後期密教の要素を豊富に取り込んでいるので、ゾクチェンの中でも特異な位置を占めている¹。ロンチェンパ以前にはビマニンティック² (Bi ma snying thig) とカンドニンティック³ (mKha' 'gro snying thig) という2種類のニンティックが存在していたが、ロンチェンパはこれら2つの伝統を受け継いでみずからのニンティック思想を完成させた。したがって、これらを解明することによってロンチェンパのニンティックの背景が明らかになる。これら2つのニンティックについては有益な研究が既に発表されているが⁴、いまだに不明な点も残されている。本稿ではこれら2つの流れのうちカンドニン

¹ ニンティックの概説としては Germano[1994: 269-326][2005: 18-21]、Ehrhard[1990: 17-20]が有益である。

² ビマニンティックとは「ビマラミトラ (Vimalamitra) のニンティック」を意味し、ビマラミトラに帰せられる数多くの文献から構成されている。ビマラミトラはインド仏教のチベット伝播に大きな役割を果たした8世紀後半の学僧である。

³ カンドニンティックとは「ダーキニー (dākiṇī, mkha' 'gro ma) のニンティック」を意味し、ダーキニーに関する呪術、瞑想法、供養法、讃歌などの数多くの文献から成っている。

⁴ カンドニンティックの研究としては以下のものが挙げられる。金子[1980: 307-311]はカンドニンティックの目録であり、同[1980: 290-299][1982: 35-48]はカンドニンティックの初期の歴史を紹介している。また Ehrhard[1990: 27-31, 60-64]はカンドニンティックの構成と内容をまとめている。Germano[1992: 35][1994: 273]はカンドニンティックの特色を短く的確に述べている。

またビマニンティックの研究としては以下を参照。金子[1980: 282-289, 301-304][1982: 48-59]、Ehrhard[1990: 20-27]、Germano[1992: 28-33, 35]。

ティクに焦点を当て、その一端を明らかにする。

2 カンドニンティクの流伝

ニンマ派が有する聖典の中には「テルマ」(gter ma、埋蔵宝典)と呼ばれる一群がある⁵。テルマとはもともと、その大半がニンマ派の開祖であるパドマサンバヴァによって地中や水中、時には彼の弟子の心の奥底に埋蔵され、守護神 (gter srung あるいは gter skyong) によって厳重に守られていた。そして時が至ると、パドマサンバヴァによってあらかじめ予言されていた特定の人物が、ダーキニーなどの神々の助力によってこれを発見する。彼は「テルトン」(gter ston、埋蔵宝典発掘者) と呼ばれ、ダーキニーの記号的言語 (mkha' 'gro bda' yig) を用いて記されたテルマを人間の言葉に翻訳し、普通の人間に理解可能なものにすると言われる。

カンドニンティクはこのようなテルマの1つであって、パドマサンバヴァによって埋蔵され⁶、ペマレデルツェル (Padma las 'brel rtsal, 1291-1319) によって発見された。ペマレデルツェル⁷はディタン ('Bri thang) に生まれ、23歳の時(1313)、ダクポ (Dwags po) とルンタモダク (Lung khra mo brag) という地でカンドニンティクを発見した。彼はそれをトゥルクレクデン⁸ (sPrul sku legs ldan, 1290-1366) に伝授し、チャルメチンカル (Byar smad phying dkar) という地で亡くなった。

その後カンドニンティクは、トゥルクレクデンによってランジュンドルジェ (Rang

⁵ テルマについては以下を参照。Dargay[1977: 62-93]、Hermann-Pfand[1992: 351-360]、Davidson[2005: 211-232]。

⁶ ロンチェンパはカンドニンティクをパドマサンバヴァによって埋蔵されたテルマのうち最高のものと讃えている。

「この雪山の中〔すなわちチベット〕において、勝者の息子であるパドマによって、4つの方角に深遠なテルマが埋蔵された。その順序等級は〔以下のような。〕南には生起と究竟〔次第〕のまとめ、すなわち幹の〔ような〕部類。西には輝き、すなわち開いた花のような〔部類〕。北には広がり、すなわち巨大な枝葉〔のような部類〕。東には成熟、すなわち栄養分として結晶した果実〔のような部類〕。これらのうち、最深の果実の部類であるこの究極の金剛精髓乗は、全ての絶頂であり数少ない最高級の中の極みであるカンドニンティクという秘密の蔵として埋蔵された。」

Them byang rin chen ljon shing 10.4-11.1: gangs ri'i khrod 'dir rgyal sras Padma yis // phyogs bzhir zab gter sbas pa'i rim pa la // lho ru bskyed rdzogs dril ba sdong po'i skor // nub tu gsal ba me tog kha bye 'dra // byang du rgyas pa yal 'dab chen po la // shar du legs smin 'bras bu bcud du 'dril // de yi nang nas yang zab 'bras bu'i skor // rdo rje snying po'i theg pa mthar thug 'di / kun gyi yang rtse yang rab 'ga' yi phul // mKha' 'gro snying tig gsang ba'i mdzod du sbas //.

同趣旨の記述は *Them byang dpag bsam ljon shing* 542.4-543.1 にも見える。

⁷ ペマレデルツェルの伝記については以下を参照。mKha' 'gro snying thig gi lo rgyus 72.1-6、mKha' 'gro snying thig gi lo rgyus rin po che'i phreng ba 496.1-497.1、gTer 'byung rin po che'i lo rgyus 109.4-110.3、Tarthang[1995: 160]、Ehrhard[1990: 30]、金子[1980: 293][1982: 43-44]。

⁸ トウルクレクデンの伝記については以下を参照。mKha' 'gro snying thig gi lo rgyus 72.4-73.4、mKha' 'gro snying thig gi lo rgyus rin po che'i phreng ba 497.1-502.5、rGyal sras legs pa'i lung bstan、sPrul sku legs pa lung bstan、金子[1980: 291-293][1982: 44-45]、Ehrhard[1990: 109, n. 94]、Tarthang[1995: 161-162]。

byung rdo rje、1284-1339) に伝えられ、ロンチェンパ⁹をはじめとする数多くの人物に継承されて¹⁰広汎に流布したと考えられる。

⁹ ロンチェンパはカンドニンティクを聴聞し実践し完全に理解するに至った経緯をみずから次のように語る。

「[本書の語り手であるロンチェンパ御前は] それから先師クマラーザのもとでゾクチェンの秘密のニンティクの灌頂、指南、タントラ、講読を、口訣と一緒に沢山 [お聞きになった。また] グル [=パドマサンバヴァ] の埋蔵聖典 (gter lung) である沢山の小編の意味をお聞きになって実践なされた。」
gTer 'byung rin po che'i lo rgyus 112.1-2: de nas bla ma dam pa Ku ma rā dza'i drung du rdzogs pa chen po gsang ba snying tig gi dbang khrid rgyud lung man ngag dang bcas pa du ma dang / Gu ru'i gter lung phran tsheng mang po'i don gsan cing thugs mnyams su bzhes so /

「今日、木の卯の年、春の3つの月においてラマとダーキニーの加持と授記から [カンドニンティク] 叙述内容の意味が私の心に降りて来た。まさに目の当たりにダーキニーが要点を説示して言葉の意味を残らず悟 [った。悟りの] 太陽が昇ったことによって私の心の蓮華は満開になった。」

*波線部の年は西暦 1315 年にあたるが、ロンチェンパはこの年にはまだ 8 歳なので明らかに不合理である。何らかの混乱があるものと思われる。

Them byang rin chen ljon shing 11.2-4: deng sang shing yos dpyid zla gsum dag la // bla ma mkha' 'gro'i byin rlabs lung bstan las // brjod bya'i don mams bdag gi snying la babs // mngon sum nyid du mkha' 'gros gnad bstan nas // tshig don ma lus rtogs pa'i nyi shar bas // bdag blo'i pad kha rab tu rgyas par byas //

ロンチェンパによるカンドニンティクの受容の詳細については Ehrhard[1990: 31, 56-59]、Germano[1992: 33-35]を参照。

¹⁰ カンドニンティクの相承系譜については金子[1980: 291][1982: 46]、Ehrhard[1990: 114-115]を参照。ただしこれら先行研究に扱われていない資料もあるので、カンドニンティクに収められている文献に見えるトゥルクレクデン以降の系譜を以下、網羅的に提示する。

①mKha' 'gro snying thig gi lo rgyus rin po che'i phreng ba 501.3-506.5:

Sprul sku legs ldan→Rang byung rdo rje

*著者の Bya bral bzod pa は sPrul sku legs ldan、Dri med 'od zer (Klong chen pa)、Rin chen gling pa の 3 人からカンドニンティクを伝授されている。

②mKha' 'gro snying thig gi lo rgyus 73.2-74.4:

rGyal sras legs pa→Rang byung rdo rje→Dar ma rdo rje→Nam mkha' rdo rje→Tshul khirms 'bum pa→Dharmalakṣa→Buddhashrī→Puṇyalakṣa→Dar ma bzang po

③sNying tig bla ma'i rnal 'byor 243.2-5:

Legs ldan pa→Shākya gzhon nu→gYung ston rol pa'i rdo rje→Dar ma badzra→Nam mkha' rdo rje→Tshul khirms 'bum→Dharmalakṣa

④rDzogs pa chen po mkha' 'gro snying thig gi bla ma brgyud pa'i lo rgyus 15.6-16.4:

Legs ldan chen po→bDe legs pa→Bya btang chos rje→Byams sems gu na

⑤g-Yung ston pas gsungs pa'i phyag 'tshal 422.6-424.2:

Chos rje (Rang byung rdo rje)→sMan lung pa→Myur sdings pa→Shākya mgon po→sBrang 'khyams badzra ratna

*g-Yung ston pa→Shākya mgon po という師弟関係も記されている。

⑥Zab gsang mkha' 'gro snying thig gi gsol 'debs 441.3-6:

sPrul sku legs pa→Klong chen rab 'byams→'Jam dbyangs khyab brdal lhun grub→Grags pa 'od zer

⑦Phyag 'tshal dri med zla rgyas 277.3-279.1:

sPrul sku legs ldan→Shantadewa→Chos kyi grags pa→Nyi ma 'od zer→Byang sems chen po

⑧gSol 'debs bdud rtsi'i chu rgyun 283.4-284.2:

Dri med 'od zer (Klong chen pa)→Chos kyi grags pa→Nyi ma 'od zer→Kun dga' rgyal mtshan→Chos dbyings grags pa

⑨g-Yung gi lo rgyus 429.6-430.6:

Shes rab tshul khirms→Chos nyid shes rab (Pradnyāshri)→Nam mkha' grags

*Rig 'dzin rgod kyi ldem 'phru can(1337-1408)→Nam mkha' grags という師弟関係も記されている。

3 カンドニンティクの構成

次にカンドニンティクの構成を見てみる。カンドニンティクには比較的早い時期に、*ユントゥンドルジェペル*¹¹ (g-Yung ston rdo rje dpal, 1284-1365) によって目録が著されている。それによると¹²カンドニンティクは6つのグループから成っている。すなわち①身に帯びることによる解脱の部類、②灌頂と作法の法類、③指南の部類、④補助的な法、⑤中有の部類、⑥断片の6つである。これら6つのグループはそれぞれ複数の書から構成されている。グループ名のチベット語とグループを構成している書数を掲げると次のようになる。

グループ名	書数
①brtags grol gyi skor	23
②dbang dang lag len gyi chos skor	23
③khrid skor	5
④rgyab chos	9
⑤bar do'i skor	5
⑥cha lag	8

これら6つのグループの構成と内容についてそれぞれ詳しく考察する必要があるが、本稿では1番目の「身に帯びることによる解脱の部類」(btags grol gyi skor) に焦点を当てる。この部類を構成している23書は以下の通りである。

1. *bTags grol snying po'i rgyud*
2. *gCig shes kun grol gyi rgyud*
3. *Yang ti gser gyi 'bru gcig pa'i rgyud*
4. *Sras gcig sa bon gyi rgyud*
5. *Rang 'byung rig pa'i rgyud*
6. *'Bras bu yongs rdzogs chen po'i rgyud*

-
7. *'Bras bu yongs rdzogs btags grol rgyud kyi ti ka gsal byed don gyi snying po*
 8. *Kun grol rgyud kyi ti ka gsal byed don gyi me long*

¹¹ この人物については Ehrhard[1990: 110, n. 95]、Tarthang[1995: 153]を参照。

¹² *Lo rgyus rgyal ba g-yung gis mdzad pa* 411.4-413.3 を参照。他にトゥルクロンベン (sPrul sku rong ban、生没年不詳) によって著された目録である *mKha' 'gro snying thig gi kha byang* 2.3-6.2 にもほとんど同一のリストが見える。なお現在のカンドニンティクにはこれらの目録に見えない著作も含まれている。

9. *Bras bu yongs rdzogs yang ti rgyud kyi ti ka gsal byed shel gyi snying po*
10. *Sras gcig sa bon rgyud kyi ti ka gsal byed nor bu'i phreng ba*
11. *Rang byung rig pa'i rgyud kyi ti ka gsal byed dung gi spar khab*
12. *Bras bu yongs rdzogs rgyud kyi ti ka gsal byed dri med snying po*
-

13. *rDzogs pa chen po mkha' 'gro snying tig gi bla ma brgyud pa'i lo rgyus*

14. *rTsal dbang*
15. *rGyud kyi bcang thabs*
16. *gZhan don*
17. *rTags bstan*
18. *Yon tan 'byung tshul*
19. *Che ba bstan pa*
-

20. *Sangs rgyas kyi 'das rjes dang po*
21. *Sangs rgyas kyi 'das rjes gnyis pa*
22. *Sangs rgyas kyi 'das rjes gsum pa*
-

23. *bTags grol don khrid*

これら 23 書は横線で区切ったように 6 つのグループに分けることができる。まず 1 から 6 は「身に帯びることによって解脱する 6 つのタントラ」(bTags grol gyi rgyud drug) と総称される 1 つのグループを形成している。そして 7 から 12 の 6 書はこれら 6 つのタントラに対する注釈である。

13 はカンドニンティックの歴史を叙述している。

14 から 19 は独立した 6 つの書と数えられているが、実際は 6 つで『果報を完備した、身に帯びることによって解脱する心髄のタントラ・無垢心髄』(*Bras bu yongs rdzogs btags grol snying po'i rgyud dri med snying po*) という 1 つの完結したタントラを構成している。

20 から 22 の 3 書は「3 つの遺言」(*Das rjes gsum*) と総称される 1 つのグループを形成しており、23 はその注釈である。

これら 23 書のうち、今回は 14 から 19 までの 6 書を訳出する。これら 6 つの書に対しては注釈文献が存在し、カンドニンティックに収められている¹³。タントラ本文は

¹³ *bTags grol phran drug gi ti ka* (TPTK) と総称される以下の 6 書。*rTsal dbang gi ti ka rig pa'i sgron me*、*bTags grol bcangs thabs kyi ti ka*、*gZhan don ti ka*、*rTags bstan ti ka*、*Yon tan 'byung tshul gyi ti ka*、*Che ba bstan*

韻文で記されていて省略が多く、意味がとりにくい。そのような場合、注釈が理解の助けとなることが少なくない。翻訳に当たってはこの注釈を常に参照し、訳文に注釈内容をしばしば反映させた。カッコ内の補足は大半が注釈にもとづいている。ただし時として筆者の理解によるものもある。また、カンドニンテイクに含まれる他の文献やビマニンテイク、あるいはロンチェンパの著作に、関連する記述が見つかることがしばしばあり、それらについては訳注で言及した。

4 'Bras bu yongs rdzogs btags grol snying po'i rgyud dri med snying po 和訳

[1]

創造力の灌頂 (*rTsal dbang*)

それから (*de nas*)、普賢父母尊 (*Kun bzang yab yum*)¹⁴の〔衆生の心を〕成熟させるリクパの創造力の灌頂 (*rig pa'i rtsal dbang*)¹⁵を受ける。正規のラマが恵まれた弟子に広大無辺な〔この〕灌頂 (*rab 'byams dbang*) を授ける〔のだが、それは〕3つ¹⁶〔の部分から成っている〕と説かれる。

〔まず弟子は〕持金剛者 (*rdo rje 'dzin pa*) であるラマに花〔を捧げ、この灌頂を授けて下さるよう〕繰り返し (*lan dang bcas te*) お願いする。〔ラマは〕団子 (*gtor*) と供物の集まり (*tshogs*) 〔を捧げてから〕、4人からなるグループ (*bzhi sde*) 〔を作って〕読経をする¹⁷。

〔続いて弟子は〕宝石〔のマンダラ〕、薬〔のマンダラ〕、穀物のマンダラを奉獻して〔以下のように唱える〕。

ウンガナム (*um ga nam*)¹⁸。

偉大な導師である普賢父母尊を礼拝します、フーム。

pa'i ti ka。

¹⁴ 「普賢父母尊」とは普賢 (*Kun tu bzang po*) と普賢母 (*Kun tu bzang mo*) の夫妻のことであり、ニンマ派において最高の尊格とされる。詳しくは *Dudjom*[1991: 115-119]、*Kapstein*[2000: 163-177]を参照。

¹⁵ 「リクパの創造力の灌頂」(*rig pa'i rtsal dbang*)とは「リクパの創造力を悟らせる灌頂」という意味であると思われる。「リクパ」(*rig pa*)とは通常「認識、知性」を意味するが、ニンマ派においては心的活動の根底にある「心そのもの」を意味し、あらゆる存在を生み出す根源とされる。あらゆる存在はこのリクパの「創造力」(*rtsal*)に他ならない。詳しくは *Davidson*[2005: 235-239]、*Ehrhard*[1990: 49-50, 255, n. 6, 288, n. 4]、*安田*[2007: 20, n. 22]などを参照。

なおこの灌頂はカンドニンテイクにおいて特別な位置を占めることが指摘されている。*Ehrhard*[1990: 129, n. 163]を参照。

¹⁶ 注釈 (TPTK 297.6-298.1)によれば、加行、根本行、後行の3つ。

¹⁷ 「それから4人の比丘からなるグループを作り、密教と顕教について読経の席を設ける。」

TPTK 298.4-5: *de nas dge slong bzhi sde byaṅṅ sngags dang pha rol tu phyin pa la thun bzungṅṅ*。

¹⁸ 現在のところ意味不明。

偉大な導師である金剛薩埵を礼拝します、フーム。

偉大な導師であるガラブドルジェ (dGa' rab rdo rje) を礼拝します、フーム。

偉大な導師であるシュリーシンハ (Shrīsingha) ¹⁹を礼拝します、フーム。

偉大な導師であるペマトテンツェル (Padma thod phreng rtsal) ²⁰を礼拝します、フーム。

偉大な導師であるデーヴァダーキニー (Dhewaḍākkini) ²¹よ、あらゆる悉地 [を授けたまえ]、フーム、アー。

菩提心の智慧の灌頂を授けたまえ、フーム。

[続いて弟子は] 成熟と解脱の真義 [を授けて下さいという] お願いを呈する²²。それから [ラマはリクパの] 創造力の灌頂を [弟子の] 心に授ける。[すると弟子は] 心を悟ることによって仏になる。

すなわち、何であれ [彼の前に] 現われて来るものがリクパの創造力 [というありよう] へと解き放たれる (gang shar rig pa'i rtsal du grol) ところの、自分自身のリクパの灌頂 (rang rig dbang) を受けた者は [仏になることへの] 希望や [輪廻することへの] 危惧から離れる²³。すなわち、姿を見せて存在するものが自分自身の [リクパの]

¹⁹ 「ガラブドルジェ」と「シュリーシンハ」はカンドニンティクの相承において重要な人物であり、本タントラの第 6 節「偉大さの提示」に登場する。詳しくは金子[1980: 298-299][1982: 36-37]、Reynolds[1996]を参照。

²⁰ パドマサンバヴァの異名の 1 つ。金子[1980: 296][1982: 40]を参照。

²¹ 「デーヴァダーキニー」とは以下の記述において「種々の世間的なダーキニー」(Bishwalokaḍākkini) と対比して言及されているので、出世間的な高位のダーキニーを指していると思われる。

Tshogs mchod rtsar phreng 229.2-3 : om āḥ hūṃ guru Dhewaḍākkini ha ri sa tsa hrīḥ ya sa ma ya Bishwalokaḍākkini sa ma ya dzah hūṃ bam hoḥ.

カンドニンティクには様々なダーキニーが登場する。すなわち、智慧のダーキニー (Ye shes mkha' 'gro, Jñānaḍākiṇī) つまり金剛豚女 (rDo rje phag mo, Vajravārāhi)、金剛・蓮華・宝・業・如来という 5 部族のダーキニー、三昧耶部族のダーキニー (dam tshig rigs kyi ḍākkini)、世間部族のダーキニー ('jig rten rigs kyi ḍākkini)、肉食部族のダーキニー (sha za rigs kyi ḍākkini) などである。詳しくは *Ḍākki gtor ma'i rim pa* 294.5-296.5、*Tshogs mchod rtsar phreng* 228.1-6, 243.2-246.3、*Ḍākki'i lus dkyil chen mo* 362.5-374.3、*Ḍākki'i rkyang sgrub* 323.4-330.6 などを参照。

これらのうち智慧のダーキニーと 5 部族のダーキニーは特に重視されており、「デーヴァダーキニー」はこれらを指すと思われる。様々なダーキニーの種類については Hermann-Pfand[1992: 118-123]も参照。

²² 注釈によると具体的には以下のような誓願を立てる。

「おお！ラマである尊者方は私を成熟させて下さい。リクパの創造力の灌頂という廣大無辺な金言を授けて下さい。私を解脱させて下さい。最高と普通の悉地すべてを与えてください。」

TPTK 299.2-4: kye bla ma rje btsun mams kyiṣ bdag smin par mdzad du gsolṣ rig pa rtsal gyi dbang bka' rab 'byams bskur du gsolṣ bdag grol bar mdzad du gsolṣ mchog thun mong gi dngos grub thams cad stsal du gsolṣ.

²³ 「自分自身のリクパがひとりでに現われてひとりでに消える (rang grol) ようになった時には仏になることへの希望はない。リクパがそのまま仏 [だから] である... 輪廻への危惧はない。リクパは

創造力〔というありよう〕へと解き放たれる (snang srid rang gi rtsal du grol) ところの、ティラ²⁴が目の当たりになる創造力の灌頂 (ti la mngon sum rtsal dbang) を受けた者は、おのずからの澄明さを本質とする偉大な我 (ngang dwangs rang bzhin bdag nyid che)²⁵の 廣大無辺なリクパの灌頂を受けたのである。

もしリクパの創造力の灌頂を受けないなら、作為的な儀式²⁶ ('dus byas cho ga) 〔を行なったとしても、そのようもの〕では解脱し得ない。自分の心の流れは成熟せず、他人は解脱しない。〔リクパの創造力の〕灌頂〔こそ〕が役に立つ。

〔灌頂に際して弟子は〕宝石、幼児、財宝、非常に大切に心に叶うものを〔ラマに〕捧げるべきである。

自分自身のリクパの創造力の灌頂を受けた時、諸存在は心〔すなわちリクパ〕に帰着するので (chos mams sems la rdzogs phyir) 解脱する。

〔リクパの創造力の灌頂を受けた者は同時に〕 廣大無辺な金言の諸灌頂 (rab 'byams bka' yi dbang mams) を受け、成熟と解脱〔をもたらす〕 諸灌頂をこうして授かるのである²⁷。

〔仏身の〕封印 (rgya)、〔仏口の〕封印、〔仏意の〕封印〔がこのテルマには捺印してある〕²⁸。善いかな。

[2]

そのまま清浄〔だから〕である。」

TPTK 300.5-301.1: rang rig rang shar rang grol du song ba'i dus suṅ sangs rgyas la re ba med de rig pa rang sangs rgyasṅ... 'khor ba la dogs pa med de rig pa rang dagṅ.

²⁴ 「ティラ」(ti la) という言葉の意味は不明だが、「身に帯びることで解脱する 6つのタントラ」に属するタントラにも現われる。*bTags grol snying po'i rgyud* 17.3、*gCig shes kun grol gyi rgyud* 18.2, 4, 6、*Yang ti gser gyi 'bru gcig pa'i rgyud* 19.5、*Sras gcig sa bon gyi rgyud* 20.4 を参照。

これらの箇所への注釈では「ティラ」は「滴」(thig le)、「ひとりでに生じた智慧である滴」(rang byung gi ye shes thig le)、「自分自身のリクパの本体」(rang rig pa'i ngo bo) という言葉に置き換えられている。*'Bras bu yongs rdzogs btags grol rgyud kyi ti ka gsal byed don gyi snying po* 29.5、*Kun grol rgyud kyi ti ka gsal byed don gyi me long* 33.6, 36.1 などを参照。

²⁵ 注釈によれば普賢 (Kun tu bzang po) のことである。

TPTK 302.2-3: bdag nyid chen po ni rang las gzhan pa'am bdag tu ma 'dus pa spu tsam yang mi 'dug pas rang rig pa'i sangs rgyas Kun tu bzang po yin pas naṅ.

²⁶ 注釈によれば顔料や宝石で出来たマンダラを見せたり、瓶を用いて灌頂したり、王冠をかぶせたり、饗宴を営むことを指す。

TPTK 302.4-5: gang zag de la rdul tshon rin po chen sna lnga'i dkyil 'khor mang po bstanṅ bum khruyis sha la bskurṅ cod pan gyis 'thibs su bcugṅ tshogs 'khor gyi 'dam du bcug kyangṅ.

²⁷ 注釈によれば、リクパの創造力の灌頂を受けた者はあらゆる灌頂を受けたことになる。

TPTK 304.6: rig pa'i rtsal dbang thob pas dbang thams cad thob pa yin pas bsngags pa brjod par bya'oṅ.

²⁸ 注 54 を参照。

タントラの保持法 (*rGyud kyi bcangs thabs*)

これら如意宝珠の〔ような〕タントラという教説は〔宝石で出来た巻帙〕として降臨して来た。〔その同じ〕宝石を溶かした汁を用いて、8指 (*sor brgyad*) の長さの巻帙〔にこれらのタントラ〕をきれいに書写する²⁹。そして種々の善住儀式 (*rab gnas, pratiṣṭhā*)³⁰〔を行なって〕衣に包み、マンダラの近くに置いて供物の集まり (*tshogs*) と団子 (*gtor*) を〔奉献〕する。そして宝石〔のマンダラ〕、穀物〔のマンダラ〕、薬のマンダラを捧げる。〔続いてラマは弟子に〕灌頂を授け、タントラを読み上げて弟子の身に〔そのタントラを〕あてがう³¹。〔弟子は〕そ〔のタントラ〕を保持することによって仏になる。

[3]

利他 (*gZhan don*)³²

他者の大きな利益を行なうために兆し (*mtshan ma*) が出現した時には³³、自分を普賢や 5 部族として観想する。〔兆しが出現した〕方角に合わせて、自分の舌を金剛杵や宝石、蓮華や剣や車輪として観想し、このタントラを唱える³⁴。その功德は語り得

²⁹ 類似する表現は他の文献にも見える。

Sangs rgyas kyi 'das rjes gsum pa I 81.5: *bstan pa gang babs rin chen gyis* legs bris mchan khung dag tu bcangs.

Sangs rgyas kyi 'das rjes gsum pa II 302.5: *bstan pa gang la dbang (=dbab) ba yi* kha dog gis ni legs bris nas.

³⁰ 「善住儀式」とは新しく製作された神像や仏像などの尊像や経典、仏塔や僧院などの建造物に特定の尊格を招請しそこにとどまらせることによって、それらを聖別する儀式である。詳しくは森 [1995][1996][1998]を参照。ここで行なわれる善住儀式については注釈に詳しい説明がなく明らかでない。「身に帯びることによって解脱する6つのタントラ」(*bTags grol gyi rgyud drug*) や「3つの遺言」(*Das rjes gsum*) などの巻帙に対する善住儀式については、ロンチェンパの著作に詳しく解説されている。*bTags grol gyi rgyab yig* 38.3-39.5、*bTags grol rgyud kyi man ngag* 354.2-359.1、*bTags grol snying po* 442.1-6を参照。

³¹ 「ラマはまた、その巻帙を持って創造力の灌頂を授けてタントラを3度読み上げる。そして弟子の頭頂、心臓のところ、あるいは腋の下にあてがう。」

TPTK 306.4-5: *bla mas kyang glegs bam de nyid thogs te rtsal dbang bskur zhing rgyud lan gsum brjod do* slob bu de'i spyi bo'am snying kha'am mchan khung du gdags so.

Cf. *bTags grol gyi rgyab yig* 39.5-41.6、*bTags grol rgyud kyi man ngag* 359.1-360.6、*bTags grol snying po* 442.6-444.5.

³² 本節と関連する記述がロンチェンパの著作に見える。*bTags grol gyi rgyab yig* 42.6-51.4、*bTags grol rgyud kyi man ngag* 360.2-362.3を参照。ビマニンティックの以下の箇所も本節の内容と関連する。*Dus gnad nges pa* 276.4-280.5を参照。

³³ 注釈によれば虹や光、雷鳴、地震、霜と雹、日食や月食を指す。

TPTK 307.3-4: *sems can gyi don bya ba ni* nam mkha' la 'ja'am 'od dam 'brug gam sa g-yos pa'am sad ser ram khyad par du nyi zla gzas zin pa'i tshes na'o.

³⁴ 注釈によれば上記の兆しが中央に出現した場合、タントラの保持者はその兆しと自分を普賢父母

ない³⁵。音や光〔を始めとする〕それらの兆し全てを見たり聞いたりした人たちは速やかに仏になって化身を獲得する。〔ただし〕この〔タントラ〕を秘匿しなければ〔このような〕果報は生じない。

[4]

印の説示 (*rTags bstan*)³⁶

素晴らしい！こ〔のタントラ〕を保持し身に帯びて解脱した人は三世の勝者の卒塔婆である。彼が逝去した時、茶毘に付せば³⁷、虹色の光明や炎の光、煙の印や³⁸5 あるいは1種類の舍利が必ず出てくる。〔5種類の舍利とは〕ヨガが後に退かないことの印と

尊として観想する。そして上方を見上げ、自分の舌を激しく燃える車輪として思い浮かべてタントラを1度読み上げる。兆しが東、西、南、北に出現した場合は、兆しと自分を各方向を司る男女1組の尊格（東=阿闍・仏眼、南=宝生・マーマキー、西=阿弥陀・白衣、北=不空成就・ターラー）として思い浮かべる。そしてその方向に向かい、自分の舌を方角に応じて各尊格のシンボルである金剛杵、宝石、蓮華、剣として観想しタントラを1度読み上げる。

TPTK 307.5-308.3: gong gi mtshan ma de dag dbus su byung ba'i dus su mtshan ma de dang rang gnyis Kun bzang yab yum du bsgom steṅ kha steng du bltas la rang gi lce 'khor lo rab tu 'bar bar bsam ste rgyud tshar gcig bsgrag goṅ... yang gong gi mtshan ma (mchan: 'ja' 'od la sogs pa'i) de dag phyogs gang (mchan: shar lho nub byang la sogs) du byung ba'i tsheṅ de dag gi (mchan: rigs lnga yab yum) lhar bsgoms la de'i phyogs (mchan: gang byung sa der) su kha bltas la rang gi lce rdo rje rin chen padma ral grir (mchan: gang yin du) bsgoms la rgyud tshar gcig gsung bsgrag goṅ.

³⁵ Cf. *Sangs rgyas kyi 'das rjes gsum pa I* 81.6-82.1: 'ja' 'od dang sa g-yo dangṅ sad ser mu ge gzas zin dusṅ phyogs bstun lce yis 'di bklag naṅ stong gsum sprul pa'i sangs rgyas laṅ yon phul bas kyang 'di don cheṅ.

ほぼ同一の文章が *Sangs rgyas kyi 'das rjes gsum pa II* 302.6-303.1 に見える。

³⁶ ロンチェンパは本節をほぼ全文引用し注釈を加えている。注釈内容は TPTK と類似する。*Zab don rgya mtsho'i sprin* 457.4-460.2 を参照。また *bTags grol gyi rgyab yig* 54.4-55.2, 56.5-58.4, *bTags grol rgyud kyi man ngag* 362.3-363.1 も本節と関係している。またビマニンティックにも本節の内容と関連する記述が見える。*Dus gnad nges pa* 282.4-284.3 を参照。

³⁷ 「このようなタントラを保持する人が逝去した時には膨大な供物を並べて捧げ、人里離れたきれいな火葬用の小屋 (*pur khang*) の中で、下に平たい鍋を並べその上に遺体を安置する。そして柁檀と柏をきれいに積み上げて菜種油を注ぎかけ、ラマと三昧耶の毀損がない同門の弟子たちが書物〔に記された手順〕通りに茶毘に付す。」

TPTK 309.3-5: de lta bu'i rgyud 'dzin de gshegs pa'i tshe mchod pa rgya chen po gshams la dbulṅ dben pa'i gnas su pur khang legs pa'i nang duṅ 'og tu slang nga bshams de'i steng du pur bzhugs la tsan dan dang rgya shugs legs par gcer (=bcer) laṅ 'bru mar gyis glugs (=blugs) shing bla ma dang mched grogs dam tshing gi sel med pas gzhung dang mthun par pur bzhu'oṅ.

³⁸ 「火葬小屋の中央の空間に虹が渦を巻いたり、青色の煙が上方へ立ち昇ったり、右回りに渦を巻いたり、炎の光が白色に光ったり、〔炎が〕揺れ動かず、炎の先端部 (*me lce*) の〔様々な〕種類が〔金剛杵や宝石などの〕仏陀のシンボル〔の形状を持って〕出現する。」

TPTK 309.6-310.1: pur khang gi dbus mthongs su 'ja' 'khyil ba dangṅ dud pa sngon po g-yen la 'greng ba dangṅ g-yas su 'khyil ba dangṅ me 'od dkar la gsal ba dangṅ g-yo 'gul med cing me lce'i rigs buddha'i phyag mtshan du 'byung ba'oṅ.

して、金剛〔部族〕や宝〔部族〕、蓮華〔部族〕の舍利、業〔部族〕や如来〔部族〕の舍利〔が出て来るのである〕。すなわち肉、骨、血、四肢、5元素の集合体を抛り所として、シャリーラム (sharīram)、チュリーラム (churīram)、バリーラム (barīram)、ニャリーラム (nyarīram)、パンツァラム (panytsaram) という5組の舍利〔が出て来る。これらは〕5部族の舍利であり、仏像 (sku)³⁹も出て来る。これらは〔死者が〕仏身 (sku) を獲得したことの印である。

〔死者が〕仏口 (gsung) を獲得した印として炎の光 (me 'od)⁴⁰や音声⁴¹〔が出現する〕。

虹〔が空にかかったり〕空が澄んで明るいのは、必ず〔死者が〕仏意 (thugs) を獲得したことの印である。

5種類の舍利は以下〔の場所〕から出て来る。すなわち頭、血、背骨、足、心臓から出て来る。〔これら舎利の〕印〔が生じた場合は、死者に〕果報が次のように生じている。シャリー〔ラム〕、チュリー〔ラム〕、バリー〔ラム〕によって〔死者が存在の〕無生〔の理解〕、優れた性質 (yon tan)、受用身を獲得している〔ことが分かる〕。ニャリー〔ラム〕、パンツァラムによって〔死者は〕化身、5身 (sku lnga) を必ずや獲得している⁴²。仏の5身と5智は、このタントラ、身に帯びることで解脱するものを保持することによって生じる。舎利の分量に決まりはないと説かれている。

³⁹ 注釈 (TPTK 311.3) によれば寂靜尊の仏像 (zhi ba'i sku) と忿怒尊の仏像 (khro bo'i sku) という2種類がある。これらについてはロンチェンパによって詳しく論じられている。Theg mchog mdzod 417b7-419b1、Tshig don mdzod 206b2-207a1、Thod rgal gyi rgyab yig 20.5-21.3 を参照。

⁴⁰ 注釈によれば光の建築物や上に向けて立ち上がる形状の光が現われる。これは死後5日目に仏になった証拠である。

TPTK 311.4: me 'od niṅ ṅod khyim dangṅ gyen 'g्रेng (mchan: zhag lnga na buddha thob) du spras pa lta bu 'byung ngoṅ.

これについてはロンチェンパの著も参照。Theg mchog mdzod 421b1-422a3、Tshig don mdzod 208a3-b1、Thod rgal gyi rgyab yig 20.1-20.2.

⁴¹ 注釈によればざわめきや爆発音が聞こえる。これは死後7日目に仏になった証拠である。

TPTK 311.4-5: sgra yang (mchan: zhag bdun na buddha thob) 'ur ba dangṅ thug pa byung goṅ.

これについては以下も参照。Theg mchog mdzod 422a3-b4、Tshig don mdzod 208b1-6、Thod rgal gyi rgyab yig 20.2-20.3.

⁴² 5種類の舍利についての記述をまとめると次のようになる。

舎利の名称	部族	素材	生ずる場所	果報
シャリーラム	金剛	肉	頭	無生
チュリーラム	宝	骨	背骨	優れた性質
バリーラム	蓮華	血	血?	受用身
ニャリーラム	業	四肢	足	化身
パンツァラム	如来	5元素の集合体	心臓	5身

「5身」については注釈にも説明がなく具体的に何を指しているのか不明。

なお、これら5種類の舍利についてはロンチェンパによって非常に詳しい説明がなされている。Theg mchog mdzod 419b1-421b1、Tshig don mdzod 207a1-208a3、Thod rgal gyi rgyab yig 20.3-5 を参照。

[5]

功德の生じ方 (*Yon tan 'byung tshul*)⁴³

素晴らしい！こ〔のタントラ〕はとりわけ優れている。〔このタントラは〕全ての人の使用対象なのではない⁴⁴。5種類の感官〔が破損し耳が〕聾になって〔も関係なく⁴⁵〕、老若男女⁴⁶、善悪〔に關係〕なく⁴⁷、習気の良し悪し〔に關係〕なく、こ〔のタントラ〕を保持する〔だけ〕で仏になる。最低〔の場合、タントラが〕息〔のかかる所〕に来た〔だけで〕も解脱する。〔このタントラの保持者は〕仏の家系を継ぐ一人息子である。

[6]

偉大さの提示 (*Che ba bstan pa*)

⁴⁸→教主である普賢父母尊 (*Kun bzang yab yum*) は彼ら自身と別でない〔金剛〕薩埵という〔法〕器〔にこのタントラを伝えた。〕加持によって〔このタントラを〕自分

⁴³ 本節はほぼ全文がロンチェンパによって引用されている。 *bTags grol rgyud kyi man ngag* 363.1-3 を参照。

⁴⁴ 注釈によれば閻浮提以外には存在しないという意味である。

TPTK 314.1-2: gang rung rung gi spyod yul ma yin noṅ 'Dzam bu gling las gzhan na med par yid ches soṅ.

⁴⁵ 注釈によれば、このタントラは身に帯びるだけで十分なので、目が見えなくても耳が聞こえなくても、手足が破損していてもハンセン病に犯されていてもかまわない。一方、他のタントラにおいては目で書物を見ること、聴聞すること、身体的あるいは言語的な所作を必要とするのであり、これらを欠けばタントラは無意味になる。したがってこのタントラの方が優れている。

TPTK 314.2-6: mig long yang lto ba med doṅ bya ba tshig rgyud gzhan thams cad dpe cha la lto pas mig med na tshig don mi khrol bas don med deṅ rgyud btags chog khyad par 'phags soṅ 'di la ma ba 'on kyang lto ba med de thos pa la brten mi dgos pa'i phyir roṅ rgyud gzhan thos pa la ma brten par grol bar mi nus te rgyud btags chog 'di khyad par 'phags soṅ rgyud 'di bya cha la mi lto pa'i chos yin teṅ lus zha grum mdzes khyer yang mi ltoṅ rgyud gzhan lus ngag gi bya ba dang bzlas brjod la ma brten na don med de rgyud btags chog khyad par du 'phags soṅ.

⁴⁶ 注釈によれば他のタントラにおいては、若いうちに体内の脈や風や精液を鍛える必要があるが、このタントラにはその必要がない。

TPTK 315.1-2: rgyud 'di la na so la rgan gzhan med pa'i chos yin teṅ rgyud gzhan ni gzhan dus su rtsa lung so ma la byed dgos pa mang ste.

⁴⁷ 注釈によれば、他のタントラにおいては善を取り悪を捨てなければ果報が得られない。一方、このタントラは善悪の業に汚されておらず、五無間を犯していてもかまわない。

TPTK 315.2-3: las dge sdig mam smin gyis ma gos pa'i chos rgyud 'di yin teṅ rgyud gzhan dge sdig spang blang ma byas na 'bras bu mi thob steṅ de sngar mtshams med lnga spyad kyangṅ rgyud 'di dang 'phrad nas ngan song las thar par 'gyur teṅ.

⁴⁸ 以下⁴⁸の箇所まで次の文献に引用されている。 *rDzogs pa chen po mkha' 'gro snying tig gi bla ma bryud pa'i lo rgyus* 13.1-3、 *mKha' 'gro snying thig gi lo rgyus* 69.5-70.1。

の身に帯びたことによって、1つ〔の存在〕を理解した〔途端に〕あらゆる存在が分かった (gcig shes chos kun grol)⁴⁹。

〔次に〕束縛と解脱〔というありようを前提とする2元的な〕手立てを超えた〔このタントラが〕金剛薩埵の加持によって、ひとりでに生ずる〔さまで〕ガラブドルジェ (dGa' rab rdo rje) の御心に現われた。

〔それからガラブドルジェはシュリー〕シンハ (Shrishingha) に〔この〕タントラを委ねた。

おお、おお！ヨーギン (dzo ki) であるシュリーシンハよ！

姿を見せて存在する輪廻と涅槃の一切切の種子であるこの〔タントラ〕なしには、教説の言葉を片言さえも舌根で唱えることができない。

加持されたこのタントラの言葉がある人に授与されたなら、その人はまた、まだ見たことのないタントラや論書を舌根で唱えることができる。

このタントラを理解しない者が十善を行なっても輪廻から解脱しない。

彼が以前に五無間を犯していても、こ〔のタントラ〕と出会ったならば悪趣に墮ちることはありえない。

こ〔のタントラ〕を知る欺瞞のない人は修習を必要とせず、〔このタントラ〕を見る〔ことで〕解脱することになる。

十波羅蜜の精髓のタントラであるこの真実のタントラを悟らなければ、三世の全てにおいて仏になりはしない。

三世のあらゆる仏もこの〔タントラ〕を身に帯びることで解脱し、仏になって5身と衆生利益をひとりでに実現した。

清浄な自分自身のリクパというたった1つの地 (rang rig mam dag sa gcig)⁵⁰にはあらゆる乗が含まれ (theḡ pa kun 'dus)、〔あらゆる〕地と道が備わっている (sa lam rdzogs)⁵¹。

⁴⁹ たった1つの根本的存在であるリクパを理解した途端、リクパから派生したあらゆる存在に精通したという意味である。以下の記述を参照。

Kun grol rgyud kyi ti ka gsal byed don gyi me long 32.6-33.1: gcig shes kun grol zhes pas 'khor 'das thams cad kyi rtsa ba rang byung rig pa 'di'i gnas lugs gcig pu 'di shes tsa naḡ kun gyi rtsa ba 'di la thug pas gcig po 'di shes pas kun grol ces pa'oḡ.

ibid. 35.1-2: chos thams cad kyi rtsa ba rang byung gi ye shes thig le nyag gcig po 'di rtogs shing shes pa'i dus naḡ chos kun la mkhas par 'gyur teḡ de ci'i phyir zhe naḡ chos thams cad rig pa'i rang rtsal las gyes pa'i phyir roḡ.

⁵⁰ リクパが「たった1つの地」(sa gcig) と呼ばれている例はロンチェンパの著作にも確認される。

Theḡ mchog mdzod 348b7-349a1: sa de dag kyang rtsa ba rig pa 'od gsal sbyang bsgrad med pa'i sa gcig gi snang cha las dbye ba ste / don la rig pa'i sa gcig yin gyi /.

⁵¹ 乗や地道などあらゆる修行道はリクパの下に統合されるという思想の詳細については *Kun grol*

化身〔であるガラプドルジェ〕がこのように仰ったので〔シュリー〕シンハは自身自身のリクパ〔を理解した。それによって〕所取と能取が消えてなくなった (rang rig gzung 'dzin grol)。〔シュリーシンハは彼の心に〕おのずと生じた真義 (rang byung don) を喜び、この精髓の極みである果報〔を完備した〕タントラ (yang ti 'bras bu'i rgyud)⁵²を保持した。

〔それからシュリーシンハは〕アティ〔ヨーガ乗、すなわちゾクチェン〕が〔他の力を借りずに〕それ自体の力によって言葉に降りて来た (A ti rang shugs tshig tu byon)⁵³、果報を完備し身に帯びることで解脱する〔この〕タントラ ('bras bu yongs rdzogs btags grol rgyud) をオルゲンペマ〔すなわちパドマサンバヴァ〕に委ねた。

5つ〔の条件〕を備えた弟子にこ〔のタントラ〕を見せるがよい。〔5つの条件とは以下の5つである。すなわち〕恵まれていて振る舞いと性格が良い。出自が良くて (rigs ldan) 輪廻を嫌い、聡明である。ラマを尊敬し修行に励む。洞察力〔を備えて〕忍耐力があり、大きな慈悲を持つ。〔ラマに〕仕え〔ラマが〕仰ったことは何でも成し遂げる。〔このような弟子〕に委ねるがよい。

〔一方、〕恵まれておらず輪廻を嫌わず、ラマを世話せず仰せごとを破る。愚鈍で修行を怠け、〔教説を〕隠すことができない。そのような劣悪な陶器や木器〔のような輩〕には〔このタントラを〕広めず、嚴重に秘匿の印を捺すべきである。適性のない人物に深遠な法を説いても誤解する。餓鬼が食べ物に敵と見るようなものである。適性ある者以外には広めてはならない。

『果報を完備し身に帯びることで解脱する心髄のタントラ・無垢心髄』という最高の究極的真義、1章からなる極秘 (yang gsang le'u gcig pa) が終わった。

〔このタントラが〕幸せな者と出会いますように。仏身の封印 (sku'i rgya)、仏口の封印 (gsung gi rgya)、仏意の封印 (thugs kyi rgya) が〔このテルマには捺印して〕ある⁵⁴。サマヤ。善いかな。

rgyud kyi ti ka gsal byed don gyi me long 35.6-37.6 を参照。

⁵² yang ti を「精髓の極み」(yang tig) と解釈した。以下の記述が参考になる。

'Bras bu yongs rdzogs yang ti rgyud kyi ti ka gsal byed shel gyi snying po 47.4-5: yang ti snying po ji bzhi noṅ zhes pa ni dper na rgyu gser gyi yang ti la rkyen mgar basṅ lha sku dangṅ sme rtsog gi snod byas shing bzang ngan du phye yang gser rgyu gcig cing mi 'gyur ba ltar... .

⁵³ 類似する表現は他の文献にも見える。'Bras bu yongs rdzogs chen po'i rgyud 22.2、bsTan pa bu gcig gi rgyud 69.5、bsTan pa bu gcig gi gsang 'grel 249.1 を参照。

⁵⁴ これら3つの封印は、器でない者にこのタントラを見せてはならないという意味である。

Kun grol rgyud kyi ti ka gsal byed don gyi me long 44.6-45.1: sku'i rgyaṅ gsung gi rgyaṅ thugs kyi rgyaṅ

5 'Bras bu yongs rdzogs btags grol snying po'i rgyud dri med snying po

チベット語テキスト

[1]

[267] *rTsal dbang* bzhugs pa lags soṅ ṅ

de nas Kun bzang yab yum gyi smin byed rig pa'i rtsal dbang bskurṅ mtshan nyid ldan pa'i bla ma yisṅ skal ba ldan pa'i slob bu laṅ rab 'byams dbang bskur gsum du bstanṅ bla ma rdo rje 'dzin pa laṅ me tog lan dang bcas te zhuṅ gtor tshogs bzhi sde gsung rab klogṅ rin chen sman 'bru'i maṅdal phulṅ

umṅ ga namṅ

mahāguru Kun bzang yab yum namo hūṅṅ

mahāguru rDo rje sems dpa' namo hūṅṅ

mahāguru dGa' rab rdo rje namo hūṅṅ

mahāguru Shriṅsingha namo hūṅṅ

mahāguru Padma tshod phreng rtsal namo hūṅṅ

mahāguru Dhewaḍākkini sarwasiddhi hūṅ ṅ

bhodhitsittadznyāna abhiṅnytsa hūṅṅ

smin grol don gyi zhu ba dbulṅ de nas rtsal dbang sems la bskurṅ sems rtogs pas ni sangs rgyas teṅ gang shar rig pa'i rtsal du grolṅ rang rig dbang thob re dogs bralṅ snang srid rang gi rtsal du grolṅ ti la mngon sum rtsal dbang thobṅ ngang dwangs rang bzhin bdag nyid cheṅ rab 'byams [268] rig pa'i dbang thob boṅ rig pa'i rtsal dbang ma thob na 'dus byas cho gas grol mi sridṅ rang rgyud ma smin gzhan mi grolṅ bogs rnams dbang gis 'byin par byedṅ rin chen bu chung nor gyi dbyigsṅ rab tu gces dang yid 'thad dbulṅ rang rig rtsal gyi dbang thob tsheṅ chos rnams sems la rdzogs phyir grolṅ rab 'byams bka' yi dbang rnams thobṅ smin grol dbang rnams de ltar bskurṅ rgya rgya rgyaṅ dge'oṅ

[2]

rGyud kyi bcangs thabs bzhugs soṅ ṅ

yid bzhin nor bu'i rgyud 'di rnamsṅ bstan pa gang la babs pa yiṅ rin chen bzhu ba'i khu ba yisṅ glegs bam sor brgyad legs bris laṅ rab gnas sna tshogs gos kyis drilṅ maṅdala khar bzhag tshogs gtor byaṅ rin chen 'bru sman maṅdal dbulṅ dbang bskur rgyud bklag bu la btagṅ de nyid bcangs pas sangs rgya'oṅ

zhes pa niṅ snod dang mi ldan pa la rgyud 'di bstan du mi rung zhes pa'oṅ.

[3]

gZhan don bzhugs soᄫᄫ

gzhan gyi don chen bya ba'i phyirᄫᄫ mtshan ma 'byung ba'i dus dag tuᄫᄫ rang nyid [269] Kun
bzang rigs lngar bsgomᄫᄫ phyogs dang bstun te rang gi lceᄫᄫ rdo rje dang ni rin chen dangᄫᄫ
padma dang ni ral gri dangᄫᄫ 'khor lo bsgoms te rgyud 'di brjodᄫᄫ 'di yi yon tan brjod mi
langsᄫᄫ sgra 'od mtshan ma de dag kunᄫᄫ sus mthong thos par 'gyur ba rnamsᄫᄫ myur du
sangs rgyas sprul sku thobᄫᄫ 'di nyid ma gsang 'bras mi 'byungᄫᄫ

[4]

rTags bstan bzhugs soᄫᄫ

e ma 'di 'chang btags grol skyes bu niᄫᄫ dus gsum rgyal ba'i mchod rten yinᄫᄫ de nyid 'das
tshe gdung bzhu basᄫᄫ 'ja' 'od zer dang me 'od dud pa'i rtagsᄫᄫ gdung rigs lnga'am gcig 'byung
ngesᄫᄫ rnal 'byor phyir mi ldog rtags suᄫᄫ rdo rje rin chen padma'i gdungᄫᄫ las dang de bzhin
gshegs pa'i gdungᄫᄫ sha khrag rus dang yan lag dangᄫᄫ 'byung 'dus lnga la rten du 'byungᄫᄫ
sha rī ram dang chu rī ramᄫᄫ pa(=ba) rī ram dang nya rī ramᄫᄫ panytsa ram dang lnga ldan
gdungᄫᄫ rigs lnga'i gdung ste sku yang 'byungᄫᄫ de rnams sku thob [270] rtags yin teᄫᄫ
gsung thob rtags su me 'od sgraᄫᄫ 'ja' tshon nam mkha' dangs gsal baᄫᄫ nges par thugs thob
rtags yin noᄫᄫ gdung rigs lnga ni 'di las 'byungᄫᄫ mgo dang khrag dang rgal tshigs dangᄫᄫ
rkang dang snying las 'byung ba yinᄫᄫ rtags la 'bras bu 'di bzhin 'byungᄫᄫ sha rī chu rī ba rī
yisᄫᄫ skye med yon tan longs sku thobᄫᄫ nya rī panytsa ram gyis suᄫᄫ sprul sku sku lnga
nges par thobᄫᄫ sangs rgyas sku lnga ye shes lngaᄫᄫ rgyud 'di btags grol bcangs pas 'byungᄫᄫ
gdung tshad nges pa med par gsungsᄫᄫ

[5]

Yon tan 'byung tshul bzhugs soᄫᄫ

e ma 'di ni khyad par 'phagsᄫᄫ kun gyi spyod yul ma yin teᄫᄫ dbang po mam lnga 'on 'gyur
cingᄫᄫ rgan gzhon pho mo dge sdig medᄫᄫ bag chags bzang ngan med pa ruᄫᄫ 'di nyid
bcangs pas buddha'oᄫᄫ tha ma dbugs la sleb kyang grolᄫᄫ sangs rgyas gdung 'dzin sras gcig
yinᄫᄫ

[6]

Che ba bstan pa bzhugs soᄫᄫ

ston pa Kun bzang yab yum gyisᄫᄫ nyid las [271] mi gzhan Sems dpa'i snodᄫᄫ byin gyis rlabs
kyis bdag nyid laᄫᄫ btags pas gcig shes chos kun grolᄫᄫ bcings dang grol ba'i thabs las 'dasᄫᄫ
rDo rje sems dpa'i byin rlabs kyisᄫᄫ rang byung dGa' rab thugs la sharᄫᄫ Seng(=Sing) ha nyid

la rgyud gtad paᄂ

kye kye rdzo ki Shrī singᄂ
snang srid 'khor 'das thams cad kunᄂ
sa bon 'di nyid ma gtogs barᄂ
bstan pa'i gsung ni tshig tsam yangᄂ
lce yi dbang pos brjod mi nusᄂ
byin gyis brlabs kyi rgyud tshig 'diᄂ
gang la gnang ba'i mi des kyangᄂ
ma mthong rgyud dang bstan bcos rnamᄂ
lce yi dbang pos brjod par nusᄂ
rgyud 'di ma rtogs dge ba bcuᄂ
spyad kyang 'khor ba las mi grolᄂ
de sngar mtshams med lnga spyad kyangᄂ
'di phrad ngan song lhung mi sridᄂ
'di rig g-yo med skyes bu deᄂ
bsgom mi dgos te mthong grol 'gyurᄂ
pha rol phyin bcu'i snying po'i rgyudᄂ
yang dag rgyud 'di ma rtogs naᄂ
dus gsum kun tu sangs mi rgyaᄂ
dus gsum sangs [272] rgyas thams cad kyangᄂ
'di la btags grol sangs rgyas teᄂ
sku lnga 'gro don lhun gyis grubᄂ
rang rig mam dag sa gcig laᄂ
theg pa kun 'dus sa lam rdzogsᄂ

sprul skus de skad bka' stsal pasᄂ Sing ha rang rig gzung 'dzin grolᄂ rang byung don la yi
rangs teᄂ yang ti 'bras bu'i rgyud 'di bzungᄂ A ti rang shugs tshig tu byonᄂ 'bras bu yongs
rdzogs btags grol rgyudᄂ O rgyan padma nyid la gtadᄂ

Inga ldan bu la 'di ston cigᄂ
skal ldan spyod lam dang tshul bzangᄂ
rigs ldan 'khor sun blo che baᄂ
bla ma la gus sgrub la brtsonᄂ
shes rab sdug sran snying rje cheᄂ

zhabs tog ci gsungs sgrub la gtad།
 skal med 'khor bas mi sun cing།
 bla ma mi khur bka' stsal gcog།
 blo chung sgrub g-yel gsang mi thub།
 rdza shing snod ngan de 'dra la།
 mi spel gsang rgya drag tu gdab།
 snod dang mi ldan gang zag la།
 zab chos bstan kyang log par rtogs།
 yi dwags zas la dgrar mthong 'dra།
 snod ldan ma gtogs spel mi bya།

'Bras bu [273] yongs rdzogs btags grol snying po'i rgyud། dri med snying po zhe bya ba
mthar thug don gyi mchog། yang gsang le'u gcig pa rdzogs so། las can cig dang 'phrad par
shog། sku'i rgya། gsung gi rgya། thugs kyi rgya yod do། sa ma ya། dge'o། །

参考文献一覧

1 次文献および略号

BMNyTh: *Bi ma snying thig*, in NyThYZh, vols. 3-6.

BMYT: *Bla ma yang tig* by Klong chen rab 'byams pa, in NyThYZh, vols. 1-2.

'Bras bu yongs rdzogs chen po'i rgyud, in KhGNyTh, Part 1, 21.5-25.4.

'Bras bu yongs rdzogs rgyud kyi ti ka gsal byed dri med snying po, in KhGNyTh, Part 1,
57.2-69.2.

'Bras bu yongs rdzogs btags grol rgyud kyi ti ka gsal byed don gyi snying po, in KhGNyTh, Part
1, 25.5-32.2.

'Bras bu yongs rdzogs yang ti rgyud kyi ti ka gsal byed shel gyi snying po, in KhGNyTh, Part 1,
45.2-48.6.

Che ba bstan pa, in KhGNyTh, Part 2, 270.6-273.2.

Che ba bstan pa'i ti ka, in TPTK 315.6-320.1.

gCig shes kun grol gyi rgyud, in KhGNyTh, Part 1, 17.6-19.3.

Ḍākki'i dril sgrub gsang ba snying gi dum bu, in KhGNyTh, Part 1, 342.6-361.2.

Ḍākki'i rkyang sgrub, in KhGNyTh, Part 2, 322.6-331.2.

Ḍākki'i lus dkyil chen mo, in KhGNyTh, Part 1, 361.2-377.3.

Ḍākki'i gtor ma'i rim pa, in KhGNyTh, Part 1, 293.6-297.4.

Ḍākki'i tshogs mchod, in KhGNyTh, Part 1, 297.4-305.3.

Dus gnad nges pa: rDo rje 'chang gis gsungs pa mchod 'os rang bzhin gyi tshig dus gnad nges pa, in BMNyTh, Part 1, 273.1-287.4.

mDzod bdun: mDzod bdun: the Famed Seven Treasures of Vajrayana Buddhist Philosophy / by Kun mkhyen Klong chen pa Dri med 'od zer, 7 vols., Gangtok: Sherab Gyaltzen and Khyentse Labrang, 1983.

rDzogs pa chen po mkha' 'gro snying tig gi bla ma brgyud pa'i lo rgyus, in KhGNyTh, Part 1, 11.1-16.5.

rGyal sras legs pa'i lung bstan, in KhGNyTh, Part 2, 396.5-398.4.

rGyud kyi bcang thabs, in KhGNyTh, Part 2, 268.3-6.

mKha' 'gro snying thig gi kha byang by sPrul sku rong ban, in KhGNyTh, Part 1, 1.1-10.4.

mKha' 'gro snying thig gi lo rgyus by dPon po dar ma bzang po, in KhGNyTh, Part 1, 69.3-74.4.

mKha' 'gro snying thig gi lo rgyus rin po che'i phreng ba by Bya bral bzod pa, in KhGNyTh, Part 2, 465.5-507.6.

KhGNyTh: *mKha' 'gro snying thig*, in NyThYZh, vols. 10-11.

KhGYT: *mKha' 'gro yang tig*, in NyThYZh, vols. 7-9.

Kun grol rgyud kyi ti ka gsal byed don gyi me long, in KhGNyTh, Part 1, 32.2-45.2.

Lo rgyus rgyal ba g-yung gis mdzad pa by g-Yung ston rdo rje dpal, in KhGNyTh, Part 2, 405.4-422.6.

sNying tig bla ma'i rnal 'byor, in KhNyTh, Part 2, 238.5-246.7.

NyThYZh : *sNying thig ya bzhi*, 13 vols., Delhi: Sherab Gyaltzen Lama, 1975 ff.

Padma las 'brel rtsal gyi skyes rabs dang lung bstan, in KhGNyTh, Part 2, 377.3-394.5.

Phyag 'tshal dri med zla rgyas by Klong chen rab 'byams pa, in KhGYT, Part 1, 276.1-282.3.

sPrul sku legs pa lung bstan, in KhGNyTh, Part 2, 451.1-6.

Rang 'byung rig pa'i rgyud, in KhGNyTh, Part 1, 20.6-21.5.

Rang byung rig pa'i rgyud kyi ti ka gsal byed dung gi spar khab, in KhGNyTh, Part 1, 53.3-57.2.

Sangs rgyas kyi 'das rjes dang po I, in KhGNyTh, Part 1, 74.5-76.6.

Sangs rgyas kyi 'das rjes dang po II, in BMNyTh, Part 1, 295.4-297.1.

Sangs rgyas kyi 'das rjes gnyis pa I, in KhGNyTh, Part 1, 76.6-80.1.

Sangs rgyas kyi 'das rjes gnyis pa II, in BMNyTh, Part 1, 297.1-299.6.

Sangs rgyas kyi 'das rjes gsum pa I, in KhGNyTh, Part 1, 80.1-82.4.

Sangs rgyas kyi 'das rjes gsum pa II, in BMNyTh, Part 1, 299.6-304.1.

gSang dbang lus dkyil ngo sprod, in KhGNyTh, Part 1, 190.1-191.5.

gSol 'debs bdud rtsi'i chu rgyun by Klong chen rab 'byams pa, in KhGYT, Part 1, 282.3-287.2.

Sras gcig sa bon gyi rgyud, in KhGNyTh, Part 1, 20.2-20.6.

Sras gcig sa bon rgyud kyi ti ka gsal byed nor bu'i phreng ba, in KhGNyTh, Part 1, 48.6-53.3.

bTags grol gyi rgyab yig: bTags grol gyi rgyab yig yid bzhin lhun grub by Klong chen rab 'byams pa, in BMYT, Part 2, 29.5-63.1.

bTags grol rgyud kyi man ngag: bTags grol rgyud kyi man ngag rin chen snying po by Klong chen rab 'byams pa, in KhGYT, Part 3, 353.4-364.5.

bTags grol snying po by Klong chen rab 'byams pa, in ZMYT, Part 1, 437.3-445.6

bTags grol snying po'i rgyud, in KhGNyTh, Part 1, 16.6-17.6.

bTags grol bcangs thabs kyi ti ka, in TPTK 305.2-307.1.

bTags grol don khrid, in KhGNyTh, Part 1, 82.4-106.1.

rTags bstan, in KhGNyTh, Part 2, 269.3-270.4.

rTags bstan ti ka, in TPTK 309.1-313.3.

bsTan pa bu gcig gi rgyud: bsTan pa bu gcig gi rgyud gser gyi snying po nyi ma rab tu snang byed, in BMNyTh, Part 1, 37.2-71.6.

bsTan pa bu gcig gi gsang 'grel: bTags pas grol bar bstan pa bu gcig gi gsang 'grel slob dpon dga' rab rdo rjes mdzad pa, in BMNyTh, Part 1, 73.1-271.3.

gTer 'byung rin po che'i lo rgyus by Klong chen rab 'byams pa, in KhGYT, Part 1, 15.1-120.6.

Theg mchog mdzod: Theg pa'i mchog rin po che'i mdzod by Klong chen rab 'byams pa, in Ehrhard[2000].

Them byang dpag bsam ljon shing by Klong chen rab 'byams pa, in KhGYT, Part 2, 529.1-544.6.

Them byang rin chen ljon shing by Klong chen rab 'byams pa, in KhGYT, Part 1, 1.1-14.1.

Thod rgal gyi rgyab yig: Thod rgal gyi rgyab yig nyi zla gza' skar by Klong chen rab 'byams pa, in BMYT, Part 1, 421.6-450.6 and Part 2, 1.1-29.5.

TPTK: *bTags grol phran drug gi ti ka*, in KhGNyTh, Part 2, 297.4-320.1.

rTsal dbang, in KhGNyTh, Part 2, 267.1-268.3.

rTsal dbang gi ti ka rig pa'i sgron me, in TPTK 297.4-305.2 and KhGNyTh, Part 1, 276.5-284.3.

Tshig don mdzod: gSang ba bla na med pa 'od gsal rdo rje snying po'i gnas gsum gsal bar byed pa'i tshig don rin po che'i mdzod by Klong chen rab 'byams pa, in *mDzod bdum*, vol. 4.

Tshogs mchod rtsar phreng: mKha' 'gro'i las byang tshogs mchod rtsar phreng, in KhGNyTh, Part 1, 225.5-261.4

Yang ti gser gyi 'bru gcig pa'i rgyud, in KhGNyTh, Part 1, 19.3-20.2.

Yon tan 'byung tshul, in KhGNyTh, Part 2, 270.4-6.

Yon tan 'byung tshul gyi ti ka, in TPTK 313.3-315.6.

- g-Yung gi lo rgyus* by g-Yung ston rdo rje dpal, in KhGNyTh, Part 2, 426.6-431.3.
- g-Yung ston pas gsungs pa'i phyag tshal* by sBrang ban rdo rje rin chen, in KhGNyTh, Part 2, 422.6-426.5.
- Zab don rgya mtsho'i sprin* by Klong chen rab 'byams pa, in KhGYT, Part 2, 1.1-488.5.
- Zab gsang mkha' 'gro snying thig gi gsol 'debs*, in KhGNyTh, Part 2, 440.1-441.6
- gZhan don*, in KhGNyTh, Part 2, 268.6-269.3.
- gZhan don ti ka*, in TPTK 307.1-308.6.
- ZMYT: *Zab mo yang tig* by Klong chen rab 'byams pa, in NyThYZh, vols. 12-13.

2 次文献

金子英一

- 1980 「ニンマ派における「心髄」の相承系譜」『大正大学研究紀要』65, pp. 280-314.
- 1981 『古タントラ全集解題目録』, 東京: 国書刊行会.

田淵淳広

- 1999 「ロンチェン・ラプジャムの異名について」『日本西蔵学会々報』44, pp. 15-22.

森雅秀

- 1995 「インド密教におけるプラティシュター」『高野山大学密教文化研究所紀要』9, pp. 27-65.
- 1996 「インド密教におけるプラティシュターの構造」『印度学仏教学研究』44-2, pp. 159-163.
- 1998 「密教儀礼の成立に関する一考察 アビシユーカーとプラティシュター」『インド密教の形成と展開』, 京都: 法蔵館, pp. 305-328.

安田章紀

- 2007 「チベットにおける五智思想の展開—ロンチェンパの五智思想—」『仏教史学研究』50-1, pp. 1-24.

Blondeau, Anne Marie

- 1980 "Analysis of the Biographies of Padmasambhava according to Tibetan Tradition: Classification of Sources", in *Tibetan Studies in Honour of Hugh Richardson: Proceedings of the International Seminar on Tibetan Studies* (Oxford 1979), New Delhi: Vikas Publishing House, pp. 45-52.

Dargay, Eva

- 1977 *The Reise of Esoteric Buddhism in Tibet*, Delhi: Motilal Banarsidass.

Davidson, Ronald

- 2005 *Tibetan Renaissance: Tantric Buddhism in the Rebirth of Tibetan Culture*, New York: Columbia University Press.

Dudjom Rinpoche

1991 *The Nyingma School of Tibetan Buddhism*, Boston: Wisdom Publications.

Ehrhard, Franz-Karl

1990 *Flügelschläge des Garuḍa: Literatur und ideengeschichtliche Bemerkungen zu einer Liedersammlung des rDzogs chen*, *Tibetan and Indo-Tibetan Studies* 3, Stuttgart: Franz Steiner Verlag.

1992 "The "Vision" of rDzogs-chen: A Text and its Histories", in *Tibetan Studies: Proceedings of the 5th Seminar of the International Association for Tibetan Studies* (Narita 1989), Narita: Naritasan-Shinshoji, pp. 47-58.

2000 *The Oldest Block Prints of Klong-chen Rab-'byams-pa's Theg mchog mdzod: Facsimile Edition of Early Tibetan Block Prints with an Introduction*, Facsimile Edition Series 1, Lumbini: International Research Institute.

2007 "A Short History of the *g·Yu thog snying thig*", in *Indica et Tibetica: Festschrift für Michael Hahn zum 65. Geburtstag*, *Wiener Studien zur Tibetologie und Buddhismuskunde* 66, Wien: Arbeitskreis für Tibetische und Buddhistische Studien Universität Wien, pp. 151-170.

Germano, David

1992 *Poetic Thought, the Intelligent Universe, and the Mystery of Self: the Tantric Synthesis of rDzogs chen in Fourteenth Century Tibet*, Ph. D. Dissertation, University of Wisconsin-Madison.

1994 "Architecture and Absence in the Secret Tantric History of the Great Perfection (*rdzogs chen*)", *Journal of the International Association of Buddhist Studies* 17-2, pp. 203-335.

2002 "The Seven Descents and The Early History of Rnying ma Transmissions", in *The Many Canons of Tibetan Buddhism: Proceedings of the 9th Seminar of the International Association for Tibetan Studies* (Leiden 2000), Leiden: Brill, pp. 225-263.

2005 "The Funerary Transformation of the Great Perfection (*Rdzogs chen*)", *Journal of the International Association of Tibetan Studies* 1, pp. 1-54.

Herrmann-Pfand, Adelheid

1992 *Ḍākiṇīs: zur Stellung und Symbolik des Weiblichen im Tantrischen Buddhismus*, *Indica et Tibetica* 20, Bonn: Indica et Tibetica Verlag.

Kapstein, Matthew

2000 *The Tibetan Assimilation of Buddhism: Conversion, Contestation, and Memory*, New York: Oxford University Press.

Reynolds, John Myrdhin

1996 *The Golden Letters*, New York: Snow Lion Publications.

Schwieger, Peter

1997 "A Note on the History of the Cult of Padmasambhava on the 10th Day of the Month",
in *Tibetan Studies: Proceedings of the 7th Seminar of the International Association for
Tibetan Studies* (Graz 1995), Wien: Verlag der Österreichischen Akademie der
Wissenschaften, vol. 2, pp. 851-855.

Tarthang Tulku

1995 *Masters of the Nying ma Lineage, Crystal Mirror Series 11*, Berkeley: Dharma
Publishing.

京都大学大学院文学研究科仏教学専修

博士後期課程2年

Graduate Student

Graduate School of Letters,

Kyoto University

Kyoto, Japan